

開講日	2014年秋期 火曜日 18:30-20:00	講義場所	病院西棟1階 臨床シミュレーションセンター 受講者数:30名程度
コースディレクター	名古屋市立大学病院 救急部 部長 笹野 寛(臨床シミュレーションセンターセンター長)		

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】急性期医療・災害医療などの緊急事態に対応する知識や様々なスキルを講義および体験型実習形式で学びます。</p> <p>【期待される成果】急性期医療・災害医療の現場で活躍することができるスキルと知識を得ることで、緊迫した状況でも慌てず自分の力を発揮できるようになります。緊急の現場で円滑な医療を提供したり、協力できるようになることを目指します。</p>
目標とする 資格	

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
S-1	1	心肺蘇生法	心肺停止患者における蘇生の基本となる一次救命処置(BLS)および二次救命処置(ALS)の位置づけやアルゴリズムなどを講義を通じて学びます。	9月2日	名古屋市立大学病院救急部 副部長 増田 和彦
S-3	2	気道管理法	用手および器具(ラリゲルマスクなど)を使った気道確保・管理方法や窒息病者に対する緊急処置を体験学習します。	9月9日	名古屋市立大学病院救急部 部長 笹野 寛
S-2	3	除細動器の使用	除細動(電気ショック)の適応および除細動器の実際の使用法などをマネキンを使って体験学習します。	9月16日	名古屋市立大学病院救急部 副部長 増田 和彦
S-4	4	一次救命処置とAED	成人に対する一次救命処置(BLS)として心肺蘇生法の基本手技(CPR)と自動体外式除細動器(AED)の実際の使用法をマネキンを使って体験学習します。	9月30日	名古屋市立大学病院 臨床シミュレーションセンター 副センター長 飯塚 成志
S-5	5	病院前救急医療体制	救急システムと一般市民にできる救急蘇生法と応急手当について学びます。	10月7日	名古屋市消防局 金子 洋
S-6	6	第2の聴診器(超音波診断)	第2の聴診器ともいわれる超音波診断装置による心エコー評価および、FAST(外傷超音波評価)についてシミュレーターで学びます。	10月14日	名古屋市立大学病院救急部 部長 笹野 寛
L-1	7	急性冠症候群の初期治療	急性心筋梗塞や狭心症など、いわゆる急性冠症候群の初期診療について学びます。	10月21日	名古屋市立大学病院循環器内科 講師 武田 裕
L-7	8	小児科救急疾患	小児科領域の救急疾患とそのプライマリケアについて学びます。	10月28日	名古屋市立大学病院 臨床シミュレーションセンター病院(小児科) 副センター長 長崎 理香
L-2	9	脳卒中の初期治療	脳卒中患者の救急外来における標準化された初期診療について学びます。	11月4日	名古屋市立大学病院救急部 副部長 三浦 敏靖
L-3	10	急性腹痛の鑑別	救急外来で頻繁にみられる腹痛の鑑別疾患について学びます。	11月11日	名古屋市立大学病院総合内科 講師 兼松 孝好
L-5	11	災害医療体制	予想される東南海トラフ地震などに備えた災害医療における我が国の医療体制について学びます。	11月18日	名古屋市立大学病院救急部 副部長 山岸 庸太
S-7	12	災害時におけるトリアージ	災害時に必要なトリアージについて学びます。	11月25日	名古屋市立大学病院救命救急センター 看護師 清水 真名美・寺西 幸子
L-4	13	てんかん・神経疾患	救急外来において脳卒中以外で頻度の多い神経疾患について学びます。	12月2日	名古屋市立大学病院救急部 副部長 三浦 敏靖
L-6	14	外傷の初期対応(胸部・腹部・骨盤外傷など)	外傷に対する初期対応について学びます。	12月9日	名古屋市立大学病院救急部 副部長 山岸 庸太
S-8	15	静脈穿刺法(PICC、CVC、PVC、骨髄穿刺)	救急外来で必要な、各種輸液路確保について学びます。(末梢静脈カテーテル、中心静脈カテーテル、骨髄路など)	12月16日	名古屋市立大学病院救急部 部長 笹野 寛